

「点取り競争」は誰のため

日本共産党 山本りか県議 6月定例会月会議 一般質問から



優しい心は 数字にできない

尾崎真紀子 原詩
愛知教職員合唱団きぼう 作詞
藤村記一郎 作曲

1. 百点何人 目標立てて 見える成果を 出せという
子どもと遊ぶ 時間を削り 数字と記録で 縛られる
優しい心は 数字にできない 生きる意欲も 数字にできない
2. 宿題見るのは 給食時間 子どもの喧嘩も 報告文書で
パソコン相手に 孤独な仕事 星空を仰ぐ 帰り道
優しい心は 数字にできない 生きる意欲も 数字にできない
3. 休み時間は 子どもと遊び ゆっくり子どもの 目を見て話す
日記のやり取りで 心をつなぐ 子どもの話咲く 職員室
優しい心と 生きる意欲と きらめく笑顔は みんな満点

信じること 受け止めること 共に生きること
涙すること 愛すること 夢を語ること
信じること 受け止めること 共に生きること
涙すること 愛すること 夢を語ること

6月12日、山本りか県議は今年度より教育長に就任した広田恵子新教育長に、教育観を聞きました。

山本りか県議が「10年経過した全国学力学習状況調査（以下、学力テストとする）や、三重スタディチェックが点取り競争に拍車をかけている。全国的に低学力生徒の答案を抜き取ったり、受験させないといった指導が問題になっているが、本県では弊害が出ていないか」と問うと、

広田恵子教育長は「弊害はない。学力テストやスタディチェックを分析することで指導力向上に役立っている」と答えました。

山本県議は、「新学期になって新しい教科書を楽しみにしていた孫が『教科書も開けずテスト対策ばかりしていつまらない』とつぶやくとの報告もある。子ども一人一人を見ないで点数を見る教育になっていては問題」とし、「優しい心は数字にできない」の歌を紹介。「生徒も教師も追いつめられている。昨年度、いじめ1510件、不登校1921人、暴力行為901件との報告は、このことと無関係ではない。教員のメンタルによる休職が99人ということも、今注目されているクラブ指導に加え、学力テストやスタディチェックが追い打ちをかけ、真に望む教育とのシレンマの中にあるのではないかと聞きましたが広田教育長は理解しませんでした。

山本県議は、「今、社会問題になっている人間をモノ扱いして使い捨てにしている産業界の流れと、学力テストは一体のもの。学校から巣立って行った若者たちが、産業界の要求の中で一つの価値観や他者評価に縛られたり頑張り過ぎて、心身を壊したり、自殺の道を選んだりしている。教育長の『産業界の方のご意見を真っ先に聞いていく』との発言は心配だ。十分に現場を体感していただきたい。策定予定の『（仮称）いじめ防止条例』の策定にあたってはこれらの切り口を十分採用していただきたい」と求めました。

メガソーラー 森 削っても 再生可能エネルギー？



山本議員は「太陽光発電の適正導入にかかるガイドライン」策定に向けてパブリックコメントがとられているが、これまでと何が異なるか。開発予定近隣住民の不安は解消されるか。国のガイドライン以上に三重県として強化された部分はあるか」

村上巨雇用経済部長「法的拘束力はないものの、地域との調和の協力を求めるもので適正な導入に効果があるものと見ている」

山本県議「雇用経済部が担当しており、適正であれば推進しようという立場。ここで問われるのは、何が適正か？ということだ。私も、再生可能エネルギーの開発と普及は大いに応援したいが、メガソーラーが環境破壊を引き起こすということになれば、再生可能という目的からも逸脱することになる。山林を保護し災害を起こさないようにと願って『森と緑の県民税』を納付している三重県民、『再生可能エネルギー発電促進賦課金』を電気料金に乗せて支払っているみんなの問題。自然エネルギーと言いつつ膨大な自然を壊し、利益だけを持っていくというやり方を適正とするガイドラインであるならば問題。再考を求める。」



環境アセス対象の開発計画中のメガソーラー

宮リバー度会ソーラーパーク	175ha
四日市足見川メガソーラー	95ha
四日市ソーラー事業所【桜】	68ha
津市ハゼ太陽光発電所造成事業	107ha

*すべて仮称

日本共産党 2017年夏季号 県議会報告

発行/三重県議会 日本共産党
〒514-8570津市広明町13番地
電話：059-224-3302
FAX：059-224-3303
岡野恵美 ☒ emi.okano.5256@icloud.com
山本りか ☒ rikachan@cty-net.ne.jp
この通信は、県議会の様子をお知らせするため、政務活動費で作成・発行しています。
ご意見・ご要望お寄せ下さい

こんなこともありました

- 上島監査委員（鈴木英敬知事の伊勢での後援会長）は辞任。
- 信号新設・横断歩道の塗り替え県警予算を3倍化。
- 県立医療センターの入り口のドアを15分早めて開けてもらった。



更なる増税！！はゴメン

「森林環境税（仮称）導入を求める意見書」
対 〇で意見書は採択されました。

日本共産党は山本県議が反対討論

【反対討論の主旨】森林整備は大変重要な役割を担っており国民の多くも森林再生を求めています。国の森林整備予算は10年の間に30%近く削減されています。財源がないからと暮らしが大変になっている国民に更なる増税で負担を強いることは許されません。国の無駄遣いこそ正して財源確保すべきです。